

第五十六回
帝國議會
貴族院

關稅定率法中改正法律案外一件特別委員會議事速記録第一號

付託議案

大正九年法律第五十三號中改正法律案

委員氏名

委員長 子爵八條 隆正君
副委員長 男爵斯波忠三郎君
候爵西郷 從德君

子爵裏松 友光君

高橋 琢也君

西野 元君

稻畑勝太郎君

渡邊千代三郎君

上郎 清助君

昭和四年三月十九日(火曜日)午後一時四
十七分開會

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハ是ヨ

リ關稅定率法中改正法律案外一件ノ特別委
員會ヲ開キマス、政府委員ヨリ承ハリマス、
大藏大臣並ニ政務次官ハ共ニ差支ガアルサ
ウデアリマスカラ、主稅局長ヨリ一應説明
ヲセラレルサウデアリマス

○政府委員(藤井眞信君) 關稅定率法中改
正法律案ニ付キマシテハ、過日、本議場ニ於
キマシテ大藏大臣ヨリ大體ノ御説明ヲ申上
ダタノデアリマスカラ、改正ノ方針及理由
等ニ付キマシテハ之ヲ省略イタシマシテ、

案ノ内容ニ付キマシテ、一應私ヨリ御説明
ヲ申上ダタイト存ジマス、第二百八號ニア
リマス「ベタナフトール」ハ、「オキシナフト
エ」酸及其ノ誘導體ニ付テ先ツ御説明ヲ致
シタイト思ヒマス、「オキシナフトエ」酸及
其ノ誘導體ニ付キマシテハ御承知デモアリ
マセウガ、染料中間物トシテ相當重要ナモ
ノデアアルノデアリマスカ、此「ベタナフト
ール」ハ「ナフタリン」カラ誘導セラレルモ
ノデ、我國ニ於テモ一年間ノ消費高ガ約百
萬斤ニモ達スル狀態デアリマシテ、極メテ
重要ナルモノデアアルノデアリマス、而シテ
其供給狀態ヲ見マスルト、最近内地ニ於ケ
ル生産ハ著シク増進シツアルノデアリマ
スケレドモ、一面尙ホ外國ヨリノ輸入モ相
當多額ニ上テ居ル狀態ニアルノデアリマ
ス、「オキシナフトエ」酸及其ノ誘導體ハ只
今申上ダタ此「ベタナフトール」ヲ原料トシ
テ製造セラレルモノデアリマスカ、是モ亦
廣ク用キラレル極メテ重要ナルモノデアリ
マス、而シテ此「オキシナフトエ」酸及其ノ
誘導體ハ原料ノ製造獎勵ニ關スル大正十四
年法律第二十九號ノ適用ニ依リマシテ、
過去數年ノ間、其製造ヲ獎勵セラレテ參リ
マシタ結果、今ヤ我國ニ於キマシテ相當ノ

生産ヲ見ルコトトナッタノデアリマス、然ル
ニ此製造獎勵期間ハ近ク本年三月ヲ以テ滿
了スルコトニナツテ居リマスノデ、若シ今後
之ニ對シテ何等ノ保護ヲモ加ヘズニ其儘ニ
致シテ置キマス、折角過去數年間ノ獎勵
ニ依ッテ發達シカケテ參リマシタ本品ノ製
造ハ、原料タル「ベタナフトール」ノ製造事
業ト共ニ著シク打擊ヲ受クルニ至ルト云フ
狀態ニアルノデアリマス、從テ之ニ對シテ
關稅政策上相當考慮ヲ要スルノデアリマス、
先ニモ申上ダマシタ如ク、是等ノモノハ染
料中間物トシテ廣ク用キラレ、我國ニ於テ
モ最も重要ナモノノ一ツニ屬スルノデアリ
マスカラ、將來益、内地生産ノ發達ヲ圖ッ
テ行ク必要ガアリマス同時ニ、既ニ獎勵金
ノ保護ニ依リマシテ、生産獨立ノ見込モ付
イテ來タ今日ノ現狀デアリマスカラ、此際
關稅ニ適當ナル改正ヲ致シマシテ、此重要
ナル事業ガ内地ニ於テ成立テ得ルノ途ヲ講
ズルコトガ極メテ適當ナル措置デアルト考
ヘタノデアリマス、併ナガラ其稅率ヲ定メ
マスルニ當リマシテハ消費者方面ニ對スル
關係ヲモ考慮イタシマシテ、出來得ル限リ
低イ程度ニ致シタイト云フヤウナコトカラ
種々調査ヲ致シマシタ結果、内地ニ於テ是

等ノ事業ガ成リ立テ得ル最低ノ限度ト致シ
マシテ、「ベタナフトール」毎百斤十八圓七
十錢、「オキシナフトエ」酸及其ノ誘導體每
百斤百圓ト云フ稅率ヲ盛ッタノデアリマス、
次ニ第二百四十五號ノ金液デアリマスカ、
此金液ニ付キマシテハ我國ニ於テ最近生産
セラレルヤウニナツテ參ッタノデアリマス
ガ、其内地生産ニ係ルモノハ專ラ金ノ含有
量ガ十一「パーセント」程度ノモノデアリマ
シテ、其後、内地生産ノ金液ノ品質モ漸次
改良セラレマス同時ニ、經費モ節約セラ
レルヤウニ相成リ產額ガ漸次増加シテ參リ
マス同時ニ、之ニ伴ウテ生産費モ自然ニ
低下イタシテ參ッテ居ルノデアリマス、現在
ニ於キマシテハ必シモ現行程度ノ關稅率ヲ
必要トシナイヤウニ認メラレルノデアリマ
ス、ノミナラズ金ノ含有量十一「パーセン
ト」以上ノモノニ付キマシテハマダ内地ニ
於テ相當品ノ生産ヲ見ルニ至ラナイ狀態デ
アリマスノデ、之レニ對シテ關稅ヲ課スル
コトハ適當デナイト思ハレルノデアリマス、
一方此金ノ含有量ニ依リマシテ、金液ヲ區
分イタシマシテ、内地ニ於テ出來ルモノニ
ハ相當ノ課稅ヲシ、内地ニ於テ未ダ出來ナ
イモノニ對シテハ成ルベク之ニ關稅ヲカケ

ナイヤウニスルト云フコトヲモ、研究考慮イ
タシテ見タノデアリマスガ、御承知ノ如ク
金液ハ極メテ小サイ形デ這入ッテ來ルノデ
アリマシテ、殊ニ多クハ小包郵便デ這入ッテ
參リマスルヤウナ狀態デアリマスルノデ、
之ヲ區分イタシマシテ、課稅スルト云フコ
トハ事實上困難ナ事情ガアルノデアリマ
ス、申ス迄モナク此金液ハ輸出陶器ノ原料
トシテ用キラレル部分ガ決シテ少クナイノ
デアリマシテ、消費者方面ノ關係ヲモ考慮
イタサナケレバナラヌノデアリマスガ、是
等ノ事情ヲ考慮イタシマシタ結果、今回之
ヲ無稅ニスルトニ提案イタシタノデアリ
マス、次ハ第二十七十三號デアリマスガ、
綿絲及長十「メートル」ノ重量三「グラム」ヲ
超エザル綿線デアリマスガ、是ハ過般大正
十五年ニ一般關稅ノ改正ヲイタシマシタ場
合ニ議會ニ於テモ色々疑問ガアリマシテ、
總造ノモノト其他ノモノトノ稅率ニ區分ガ
アリマスノデ其實質ガ高イ方ノ稅率ノ適用
ヲ受クベキモノガ形ヲ變ヘテ、低イ方ノ稅
率ノ適用ヲ受ケテ這入ッテ來ヤシナイカト
云フヤウナコトガ、議會ニ於テ議論サレタ
ノデアリマス、然ルニ一般關稅改正後ノ實
績ヲ調査イタシテ見マスルト云フト、此木
製ノ絲卷ニ卷キタルモノハ漸次其輸入ガ増
加シテ居ルノデアリマスガ、曩ニ第五十一
議會ニ於テ懸念サレマシタ如ク、稅率改正

ノ爲ニ從來木製ノ絲卷ニ卷イテ輸入セラル
タモノガ總造ノモノトシテ輸入セラル、ト
云フ事實ハ現ハレテ居ナイノデアリマス、
併ナガラ此總造ノ形デ這入ッテ來ルモノノ
中デ、其生ノモノ以外ノモノニ付キマシテ
ハ近來其輸入サレマシタ實績ヲ調査イタシ
テ見マスルニ、主トシテ刺繡用ノモノ又ハ
編物用等比較的良イモノガ包含サレテ居ル
ノデアリマシテ、當初豫定イタシテ居リマ
シタ如ク、綜綳用ノ絲ノ如キモノハ殆ド實
際上輸入サレテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ狀
態ニナッテ居ルノデアリマス、此刺繡用編物
用ノ絲ナドハ申ス迄モナク其價格モ非常ニ
高イノデアリマシテ、從テ現行ノ從量稅率
デ計算ヲ致シテ見マスルト、僅ニ從價六分
内外ニシカ當ラナイト云フヤウナ狀態ニ
ナッテ居ルノデアリマス、從テ他ノ品種ノモ
ノトノ間ニ權衡ヲ失スルヤウナ狀態ニナッ
テ居リマスカラ、之ヲ改正イタシマシテ此
二百七十三號ノ末項ニ入レマシテ、其他ノ
モノト同様ニ從量三割ヲ適用スルトニ致
シタイト考ヘタノデアリマス、其次ハ五百
五十七號「ピアノ」デアリマス、「ピアノ」ノ
稅率ニ關シマシテモ色々議論ガアルノデア
リマスガ、大體ニ於テ現行程度ノ稅率デ宜
カラウカト思フノデアリマスガ、唯、最近
ニ於ケル「ピアノ」ノ輸入ノ狀況ヲ調べテ見
マスルト、平形ノモノト豎形ノモノトノ間

ニ著シク數ノ狀態ニ權衡ヲ失シテ居ルヤウ
ニ認メラレルノデアリマス、即チ平形ノモ
ノハ價格ガ高イシ、豎形ノモノハ價格ガ低
イノデアリマスガ、ソレヲ現行法ニ於テハ
一樣ニ課稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、是
ハ平形ノモノト豎形ノモノトノ輸入價格ノ
實際ニ鑑ミマシテ、權衡ヲ維持スルヤウニ
改正スルトコトガ適當デアルト考ヘマシテ、
現行豎形ノモノニ對スル六十圓九十錢ト云
フモノヲ其儘據置キマス同時ニ、其割合
ヲ以テ平形ノ輸入價格ニ對スル稅率ヲ割出
シマスルト、八十六圓七十錢ト云フ數字ガ
出マスガ、平形ト豎形ノ間ノ權衡ヲ維持ス
ル爲ニ平形ノモノダケ稅率ヲ改正イタシタ
イト云フ趣旨デアリマス、最後ハ木材關稅
デアリマスガ、此六百十二號ノ木材關稅ニ
關シマシテハ、今回ノ改正案中、最も重要
ナルモノデアリマシテ、是ハ特ニ私ヨリ申
上ゲル迄モナク我國ノ最近ノ木材ノ狀況ヲ
見マスルト、著シキ外材ノ輸入ニ依リマシ
テ、内地材ガ非常ナル壓迫ヲ受ケテ居ルヤ
ウナ狀態ニアルノデアリマス、然ルニ此林
業ナルモノハ、國土保安ノ關係カラ見マシ
テモ、又水源涵養治水等ノ關係カラ見マシ
テモ、其他、國策ト致シマシテ、各種ノ方
面カラ研究イタシマシテ、出來得ル限り林
業ノ成立ヲ得ルヤウニ致シテ行クト云フコ
トハ、極メテ必要ナ政策デアルト考ヘラレ

ルノデアリマス、從テ木材關稅ニ關シテモ、
從來屢々議論サレタ所デアルノデアリマス
ガ、若シ此木材關稅ヲ著シク引上ゲマシ
テ、木材關稅ノ、ニ依ッテ林業ノ成立シ得
ルヤウニ保護ヲ加ヘテ行カウト云フコトニ
致シマスレバ、其結果、木材ノ價格ヲ著シ
ク高カラシメ、延イテ消費者方面ニモ惡
影響ヲ及ボスト云フ懸念ガアリマスノデ、
今回政府ニ於キマシテ、一方ニ於テ林
業助長ノ政策ヲ執ルト同時ニ、或程度
ニ關稅ノ改正ヲ致シマシテ、兩々相俟ッテ
林業政策ノ基礎ヲ固ク致シテ行キタイ、斯
ウ云フ大體ノ方針ヲ執ッタノデアリマス、林
業助長ノ方面ニ關シマシテハ、過日當院ノ
御協贊ヲ經マシタ昭和四年度ノ豫算ニ於テ
計上セラレテ居リマスル如ク、各種ノ方
面ニ互ッテ之ガ助長ヲ圖リタイト云フコト
ヲ計畫イタシテ居ルノデアリマス、ソレト
相並ビマシテ、一面此關稅ニモ適當ナル改
正ヲ加ヘマシテ、消費者ニ對スル惡影響ヲ
出來ルダケ少ク致スト同時ニ、林業ノ成立
ヲ得ルヤウニ致シテ行キタイト云フ趣旨ニ
於テ大體ノ法案ヲ作ッタノデアリマス、木材
關稅ニ關スル現行ノ法律ハ御承知ノ如ク
「バイン」「フアー」「シダー」「ヘムロック」
「スプルー」等針葉樹ヲ一括イタシマシ
テ、板材ニ對シテハ三圓十錢、小角材ニ對
シテハ一圓九十五錢、共ニ六分デ算出イタ

シタ税率ヲ板材ト角材ニノミ課稅ヲ致シマシテ、其他ノモノハ無稅ト致シテ居ルノデアリマス、今回ノ改正案ハ本ノ種類ヲ區別イタスト同時ニ、其用途其他、各方面ノ研究ヲ致シマシタ結果、同ジ樹種中ニ於ケル區分ニモ相當ノ改正ヲ加ヘマシテ此處ニ提案イタシテ居ルヤウナ案ヲ作シタノデアリマス、一番初メニアリマス長二十「センチメートル」、幅七「センチメートル」厚七「ミリメートル」ヲ超エザル「シダー」、是ハ鉛筆用ノ「シダー」デアリマシテ、現行法デモ無稅デアリマスガ、其用途ニ鑑ミマシテ改正案ニ於テモ之ヲ無稅ト致シテ居リマス、其次ガ「ヒノキ」屬デアリマスガ、是ハ「ホワイトシダー」及「イエローシダー」ト稱セラレルモノデアリマシテ、俗ニ所謂米櫓ガ之ニ屬スルノデアリマス、之ヲ「イ」「ロ」「ニ」ツニ區分イタシマシテ、「イ」ノ方ハ主トシテ製材デアリマス、「ロ」ノ方ハ主トシテ資材デアリマス、此製材ノ方ニハ每立方「メートル」九圓八十五錢、資材ノ方ニハ每立方「メートル」五圓四十錢ノ税率ヲ配シタノデアリマス、此税率ヲ割出シマシタノハ、大體製材ニ對シテハ二割、資材ニ對シテハ一割二分五厘ト云フコトヲ基礎ト致シマシテ、昭和二年ノ輸入價格カラ計畫ヲ致シマシテ、此數字ヲ出シテ居ルノデアリマス、其次ハ「ネゾコ」屬及「ツガ」屬ト書イテ居リ

マスガ、主トシテ「レッドシダー」「ヘムロック」即チ所謂米杉及米櫓等ヲ包含イタスノデアリマス、是ハ輸入ノ狀況等ニ鑑ミマシテ、四種ニ區分イタシマシテ、「イ」ト致シテ居リマスルノガ板材デアリマシテ、每立方「メートル」ニ付キ六圓二十五錢、「ロ」ト致シテ居リマスノハ主トシテ小角材デアリマシテ五圓五十錢「ハ」ト致シテアリマスノハ主トシテ大キク切りマシタ大角材ト稱シテ居ルモノデアリマシテ是ガ三圓七十錢、「ニ」ト致シテ居リマスノガ丸太及割材デアリマシテ之ヲ三圓三十錢ト云フコトニ致シテ居リマス、此税率ヲ算出イタシマシタノハ、「イ」「ロ」即チ主トシテ製材ト見ラレマスノハ從價二割ノ割合デ算出イタシテ居リマス、ソレカラ「ハ」「ニ」即チ主トシテ資材ト考ヘラレマスモノニ對シテハ從價一割二分五厘ノ割合デ算出イタシテ居リマス、先キニ申上ダマシタ「ヒノキ」屬即チ米櫓ト、ソレカラ只今申上ダマシタ米杉、米櫓類ハ外材中ニ於キマシテモ、主トシテ内地材ニ對スル壓迫ノ強イモノデアリマシテ、我國林業ノ中心ヲナシテ居リマス杉、檜ニ對スル對抗材デアリマスノデ、是等ノモノニ對シテハ特ニ慎重ナル考慮ヲ拂ヒマシタ結果、製材ニ對シテ二割、資材ニ對シテ一割二分五厘程度ノモノヲ以テ適當ト考ヘマシテ、斯様ナ税率ヲ算出イタシタノデアリマス、其次ニア

リマス「モミ」屬、「タウヒ」屬、「マツ」屬及「カラマツ」屬、是ハ米國等ヨリモ輸入セラレルモノガアルノデアリマスガ、主トシテ所謂北洋材デアリマシテ、過日、本議場ニ於テモ申上ダテ居リマス通り、是等ノモノハ主トシテ輸出品ノ箱ノ材料ニナリマストカ、其他商品ノ包装材料ニナリマストカ、或ハ飛行機ノ材料ニナリマストカ、各種原料用ニ用キルモノデアリマス、殊ニ紙ノ原料タル「パルプ」ニ用キルモノ主トシテ此種類ニ屬スルノデアリマス、是等ノ用途ニ鑑ミマシテ、成ルベク税率ヲ低クスルコトガ適當ナリト考ヘマシテ、其資材ニ屬スルモノニ對シマシテハ之ヲ現行法通り無稅ニ据置イタノデアリマス、而シテ其製材ニ屬スルモノニ付キマシテハ一圓十錢ト云フ低イ税率ヲ配シテ居ルノデアリマス、是ハ大體從價三分ヲ目安トシテ此税率ヲ割出シテ居ルノデアリマス、何故ニ之ヲ特ニ安ク致シタカト云フコトニ付キマシテハ只今申上ダマシタ通り、主トシテ其用途ニ考ヘタノデアリマス、尙ホ、一言此點ニ付テ附加ヘテ申上ダル必要ガアルト考ヘマスコトハ、滿洲及朝鮮ノ關係デアリマス、御承知ノ如ク朝鮮ニハ大體ニ於テ關稅定率法ガ適用サレテ居ルノデアリマスガ、只今共ニ御審議ヲ願フテ居リマス別ノ法律ニ於キマシテ特ニ木材其他數種ノ品目ニ對シテ特例ガアル

ノデアリマシテ、現在朝鮮ニ輸入セラル、木材ハ全部無稅ニナッテ居ルノデアリマス、所ガ今回政府ニ於キマシテハ朝鮮ノ各種ノ此事業ヲ考慮イタシマシタ結果、朝鮮ニ於ケル關稅ノ特例ヲ廢止イタシタイト云フコトデアリマスノデ、「己ノ四」ト書イテ居リマス「モミ」屬「タウヒ」屬「マツ」屬「カラマツ」屬等ニ對シテ相當ノ税率ヲ配スルト云フコトニナリマスレバ、只今マデ安東縣其他カラ朝鮮ニ無稅デ運入ッテ居リマシタ木材ニ對シテ新ニ課稅セラレル狀態ニ立至リマスノデ、ソレ等ノ事情ヲモ考慮イタシマシテ、特ニ此「己ノ四」ニ書イテアリマスモノハ其製材ニ對シテモ從價三分ト云フ低イ率デ割出シテ、一圓十錢ヲ配スルコトヲ適當ト考ヘタノデアリマス、ソレカラ最後ニ「其ノ他」トアリマス「ドグラスファー」等、是ハ主トシテ米松ト云ハレルモノヲ包含イタシテ居ルノデアリマスガ、是ハ杉、檜等内地ノ木材ニ對スル影響モ米櫓、米杉等ニ比ベマシテハ幾分相違ガアリマスシ、又其用途等ヲ考慮イタシマシテモ、幾分之ニ對シテハ低イ税率ヲ盛ルコトガ適當デアラウト考ヘマシテ、大體之ヲ四ツ二分ケマシテ、製材ノ部分ニ對シマシテハ一割五分ヲ基礎ト致シテ税率ヲ算出イタシタノデアリマス、即チ「イ」ト致シテ居リマス板材ニ對シテハ一割五分デ算出イタシマシタ四圓五十

五錢ヲ、小角材ニ對シマシテハ矢張り一割五分計算出イタシテ三圓九十錢ト云フ稅率ヲ盛ツタノデアリマス、ソレカラ「ハ」ト「ニ」ガ資材ニ屬スル分デアリマスガ、此「ハ」ノ分ニ對シマシテハ製材トノ間ニ七分五厘ノ間差ヲ置キマシテ、之ニハ七分五厘ノ割合計算出イタシタ二圓十錢ト云フモノヲ盛ツテアリマス、最後ノ丸太及割材デアリマスガ、此中デ長十「メートル」ヲ超エ末口ノ直徑三十「センチメートル」ヲ超エザルモノハ、普通ノ所謂杭丸太ヲ包含イタシテ居ルノデアリマシテ、建築用其他ニ是非無クテハナラヌモノデアリマスルノミナラズ、主トシテ是ハ内地ノ生産ガ乏シイノデ、外材ノ輸入ニ俟タネバナラヌ狀態ニアリマスノデ、特ニ是ハ其用途ノ關係ヲ考慮イタシマシテ、無稅ト致シタノデアリマス、從テ其杭丸太ヲ除キマシタ以外ノ丸太割材ニ對シマシテハ、其用途等カラ考慮イタシマシテ、更ニ是ハ幾分稅率ヲ低ク致シマシテ、五分計算出イタシマシタ一圓二十錢ヲ配スルノヲ適當ト考ヘタノデアリマス、尙ホ附加ヘテ一言申上デテ置キタイト思ヒマスコトハ、現在ノ定率法ノ分ケ方ニ於キマシテハ、厚六十五「ミリメートル」ト、ソレカラ百五十「ミリメートル」ヲ以テ區分ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ一面、商工省ノ告示イタシテ居リマスル木材ノ規格規定ニ依リマ

シテ、六十「ミリメートル」及二百「ミリメートル」ニ改正スルコトガ適當ナリト考ヘマシテ、各樹種ヲ通ジマシテ區分イタシマスル場合ニ六十「ミリメートル」及二百「ミリメートル」ト云フ規格ノ標準ヲ取ツテ區分イタシテ居ルノデアリマス、以上ガ此案ノ大體ノ説明デアリマスガ、尙ホ更ニ御尋ニ依リマシテ御答ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵八條隆正君) 續イテ大正九年法律第五十三號中改正法律案ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(草間秀雄君) 大正九年法律第五十三號中改正法律案ノ内容ニ付テ大體ノ御説明ヲ申上デタイト思ヒマス、此法律ハ關稅ニ關スル朝鮮ニ適用シマスル特例ヲ規定イタシタ法律デアリマスガ、關稅統一ノ趣旨カラ考ヘマシテ此特例ヲ廢止イタシマシテ、内地ノ定率法其モノヲ朝鮮ニ施行イタシタイト云フ趣旨ヲ以テ此案ヲ提出イタシタノデアリマス、朝鮮ニ於ケル關稅ノ制度ニ付キマシテハ併合ノ際ニ對外關係ヲ考慮イタシマシテ、併合後十年間ハ舊韓國時代ノ關稅其モノヲ適用イタシタノデアリマス、デ其期間滿了ノ年ニハ恰モ大正九年ニ當ルノデアリマスガ、其際ニ色々政府ニ於キマシテモ考究ヲ致シマシタ結果、大體ニ於テ朝鮮ハ内地ト同一ノ關稅制度ヲ

布クモノデアアル、内鮮統一シタル關稅制度ヲ適用スベキモノデアアル、從テ關稅法ハ勿論、關稅定率法其他ノ附屬法令モ總テ朝鮮ニ施行スルコトニナツタノデアリマス、然ルニ其際朝鮮ニ於ケル特殊ノ事情ニ鑑ミマシテ、或種ノ品目ニ付テハ内地ノ稅率ト異タル稅率ヲ適用スルコトニ致シタノデアリマス、其品目ハ七種類アリマス、即チ煙草、緬羊、木材、石油、鹽、「コークス」、馬、此

七ツノ品目ニ對シマシテハ朝鮮ニ於テ特殊ノ稅率ヲ適用イタシタノデアリマス、其理由等ニ付テハ各品目毎ニ廢止ノ理由ヲ申上デタル場合ニ申上デタイト思ヒマス、其内煙草ト緬羊ハ既ニ特例ヲ廢止イタシマシテ、朝鮮ニ於テモ内地同様ノ課率ヲ適用シテ居リマス、即チ現在殘テ居リマス所ノ特例ノ稅率ハ木材ト石油ト鹽、「コークス」、馬、此五種類ノ稅率ガ只今殘テ居ルノデアリマス、デ是等ノ稅率ハ大正九年當時ニ於ケル特殊ノ事情ニ鑑ミマシテ特例ヲ設ケタノデアリマスガ、其後著シク事情ノ變化ヲ見ルニ至リマシタノデ、今回は等ノ稅率ハ全部撤廢イタシマシテ、内地ト同様ノ稅率ヲ適用イタシタイト思フノデアリマス、既ニ大正九年關稅制度ヲ朝鮮ニ於テ施行イタシマスル際ニ於テモ、政府ニ於テハ將來ニ於テ適當ノ時機ニ此特例ヲ廢シテ完全ナル關稅ノ統一ヲスルモノデアルト云フヤウナ其

際ノ政府ノ方針デアリマシタノデ、其方針ヲ體シマシテ今回之ヲ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、第一ハ木材デアリマスガ、木材ハ原木ニ付テハ内地モ無稅デアリマスガ、製材ニ付テハ既ニ内地ニ於テハ課稅イタシテ居ルノデアリマスガ、朝鮮ニ於テハ製材ニ付テモ無稅デアリマス、是ハ大正九年ノ當時ニ於キマシテハ原木ノ供給モ不足デアリマスシ、又製材能力モ不足デアアル、從テ價格モ高イト云フヤウナ時期ガアリマシタカラ、特ニ此モノニ付テハ無稅ト致シタノデアリマス、其後著シク事情ノ變化ヲ來シマシタノデ、今回廢止スルコト致シタノデアリマス、其事情ノ變化ニ付テ申上デマシテ御諒解ヲ得タイト思フノデアリマス、朝鮮ニ於ケル森林ノ現狀ハ林相ヲ成シテ居リマスマア立派ナ森林ト申シマスノハ主トシテ鴨綠江、豆滿江方面ニ於ケル官有林デアリマス、中部朝鮮カラ南部朝鮮ニ於ケル森林ノ現狀ハ殆ド林相ヲ成シテ居ルモノハ少イノデアリマス、殆ド荒廢ニ任セテアルト云フヤウナ情勢デアリマス、殊ニ中部南部ニ於ケル民有林等ニ付テハ殆ド立派ナル森林ト云フモノハ無イヤウナ現狀デアリマス、斯ノ如ク林野ノ荒廢シテ居リマスルガ爲ニ、國土ノ保安又ハ水源ノ涵養等ニ於テ著シク缺陷ヲ來スノデアリマス、御存ジノ通り朝鮮ニ於ケル河川ノ如キハ殆

ド荒レ放題デアリマシテ、毎年是ガ災害ノ爲ニ費ス所ノ國帑並ニ民間ノ資金ト云フヤウナモノハ莫大ナル金額ニ達スルノデアリマス、是ガ産業ノ開發等ニ及ボス所ノ影響モ誠ニ憂フベキモノガアルノデアリマス、斯ノ如キ狀態デアリマスカラシテ、朝鮮ノ産業ノ開發其他ノ點カラ見マシテモ、林政ヲ確立イタスト云フコトハ最モ必要ノ事デアルト云フコトデ、朝鮮總督府ニ於テハ從來是ガ計畫ノ樹立ニ努力シテ居ルノデアリマスガ、大正十四年ニ議會ノ御協賛ヲ經マシテ茲ニ朝鮮ニ於ケル林政ノ計畫ヲ確立シタノデアリマス、デ其林政計畫ノ内容等ニ付テハ何レ又御質問等ニ應ジマシテ申上デタイト思ヒマスガ、斯ノ如キ林政ノ計畫ヲ立テルト同時ニ一面ニ於テハ木材ニ關スル關稅ノ制度ヲモ整ヘマシテ、兩々相俟テ此林業ノ保護ヲ圖ルト云フコトガ最モ必要デアルト考ヘマス、先ニ五十二議會ニ於テ、此朝鮮ニ於ケル關稅特例廢止ノ案ヲ出シタノデアリマスガ、種々ナ事由ニ依テ遂ニ成立ニ至ラナカタノデアリマス、今回ハ他ノ特例ト共ニ之ヲ全廢イタス案ヲ立テタノデアリマス、併シ先程申シマシタ此特例設定當時ト著シク事情ノ變化ガ起タト申シマスル點ハ、第一ハ原木ノ供給ガ著シク潤澤ニナッタノデアリマス、又製材能力モ著シク多クナリマシテ、朝鮮内ニ於テ何等製材

ニ付テノ不足ヲ訴ヘルコトガ無クナッタノデアリマス、ソレハ此林政計畫ノ實行ト致シマシテ、鴨綠江、豆滿江方面ニ於ケル國有林ノ伐採數量ヲ増加スルコトニ致シマシテ、其伐採ニ依ル所ノ增收ニ依リマシテ官有林民有林ノ保護施設ヲ實行スルコトニ致シタノデアリマス、從テ原木ノ供給ハ著シク増加スルコトニナルノデアリマス、又朝鮮ニ於ケル製材能力モ大正九年當時ニ於テハ僅ニ五六十万尺締ノ能力シカナイノデアリマス、現在ニ於キマシテハ百二十三万尺締ノ能力ヲ持ッテ居リマス、而モ現在働イテ居ル所ノモノハ僅ニ六七十万ニ過ギナイノデアリマス、マダ緯々トシテ餘裕ガアルヤウナ實況ニナッテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク原木並ニ製材ノ供給モ潤澤ニナルノデアアルカラ、朝鮮ニ滿洲方面カラ這入ッテ來ルモノニ税金ヲ掛ケマス結果、其輸入ニ於テ多少少クナリマシテモ、是ガ爲ニ價格ノ昂騰ヲ來スト云フコトハ決シテナイト信ジテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ理由ヲ以テ茲ニ特例ヲ廢止スルコトニ致シタノデアリマスガ、先ニ主稅局長カラ御説明イタシマシタヤウニ、斯ノ特例ヲ廢シマシテ外材ニ對シテ課稅イタシマシタ結果、從來朝鮮方面ニ輸入シテ居リマシタ安東其他滿洲方面ニ於ケル製材業ガ相當ニ影響ヲ受ケルコトハ申ス迄モナイト思ヒマスガ、特ニ其點ヲ考慮

イタシマシテ其他ノ理由モアリマスガ、其點ヲモ考慮イタシマシテ、是等ノ滿洲方面カラ這入リマス所ノ特殊ノ材種ニ付キマシテハ、特ニ三分ノ稅率ニ致シタノデアリマス、即チ一圓二十錢ノ稅率ニ致シタノデアリマス、ノミナラズ、施行ノ當初ヨリ一圓二十錢ノ稅率ヲ直チニ適用イタスト云フコトハ、所謂激變ヲ來ス所以デアリマスカラ、此點ヲモ考慮イタシマシテ、當初ノ、一番初ノ年ハ一分、二年目ガ二分、三年目ガ二分、四年目ニ至ッテ初メテ三分ヲ課稅イタシマス、其趣旨カラ致シマシテ、其第一年ハ四十五錢、第二年、三年ガ七十五錢、四年ニ至ッテ一圓二十錢ノ課稅ヲスルコトニ致シマシテ、影響ノ緩和ヲ圖ルコトニ考慮イタシタノデアリマス、第二ハ石油デアリマス、石油ハ内地ニ於キマシテハ、大正九年當時ニ於キマシテハ「ガロン」デ九十六錢ノ税金ヲ課稅イタシタノデアリマス、大正十五年ニ改正イタシマシテ八十錢ニナッテ居リマス、然ルニ朝鮮ニ於キマシテハ、大正九年以來六十一錢デ、内地ヨリモ十九錢其税金ガ安イノデアリマス、是ハ朝鮮ニ於キマシテハ未ダ電燈ガ發達イタシマセヌカラ、是等ノ點ヲ考慮イタシマシテ、斯ノ如キ特ニ安イ稅ヲ盛ッタノデアリマス、然ルニ其後ニ於ケル石油ノ市價ノ實情ヲ審カニ致シマスルト云フト、豫想以外ノ結果ニナッ

テ居ルノデアリマス、ソレハ内地ノ税金ガ八十錢デ朝鮮ハ六十一錢デ十九錢安イノデアリマスカラ、内地ニ比ベテ安クシテ然ルベキデアリマスガ、實際ハ之ニ反シマシテ内地ヨリ寧ろ高イト云フ結果ヲ來シテ居ルノデアリマス、之ヲ具體的ニ申上デマスルト米國ノ油ノ上松印ト申シマシテ、マア是ガ代表的ノ「レッセル」ト云フコトニナッテ居リマスガ、東京ニ於テハ現在デモ一箱五圓九十五錢デアリマス、然ルニ京城ニ於キマシテハ七圓三十錢ニナッテ居リマス、コ、ニ約一圓三十錢ノ開キガアルノデアリマス、是ハ税金ヲ籠メテノ比較デアリマスガ、裸相場デ稅抜キニ致シマスレバ、東京ハ五圓十五錢デアリマシテ京城ガ七圓十一錢、即チ一圓九十六錢ノ差ガアリマス、斯ノ如ク誠ニ不自然ナ實蹟ヲ見テ居ルノデアリマス、而モ是ハ朝鮮ニ於キマシテハ石油ハ何等カノ方法ニ依ッテ此價格ヲ合理的ニ整理イタシタイト思ヒマシテ、色々外國ノ石油會社ニ交渉イタシマシテ、色々交渉ノ結果一圓位下ゲテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ狀態デアリマス、斯ノ如ク不自然ナル狀況ヲ呈シテ居リマスル、其理由ハ全ク關稅ノ安イコトニ依リマシテ、外國ノ石油ガ市場ヲ獨占シテ居リマシテ、外國油ハ其輸入數量ヲ適當ニ統制イタシマシテ、市價ヲ獨占イタシマス結果、斯ノ如キ狀態ヲ呈シテ居

ルモノト考ヘルノデアリマス、現ニ臺灣等ニ於キマシテハ、ドウ云フコトニナッテ居ルカト申シマス、臺灣ハ殆ド内地ト相場ガ違ハヌノデアリマス、臺灣ハ特例ガアリマセヌ、内地ノ稅率其儘行ッテ居リマス、從テ内地ノ油ガ臺灣ニモ這入ッテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ結果ト考ヘラレルノデアリマス、デ茲ニ朝鮮ニ於キマシテモ此特例ヲ廢止イタシマシテ、内地ト同様ニ「ガロシ」ニ八十錢ノ稅金ヲ拂フコトニ致シマス、茲ニ内地ノ油モ朝鮮ニ這入ッテ來ル餘裕ガ出來ルノデアリマシテ、茲ニ價格ノ合理化ヲ見ルコトガ出來ルト信ジテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク價格ヲ合理化スルコトト、一面ニ於テハ國產ノ獎勵ヲ圖ルト云フ趣旨カラ茲ニ特例ヲ廢スルコトニ致シタノデアリマス、第三ニハ鹽デアリマス、鹽ニ付テハ内地ハ無稅デアリマス、是ハ專賣ガ施行サレテ居リマスカラ、詰リ内地デハ無稅ニナッテ居リマス、朝鮮ニ於キマシテハ百斤デ十錢ノ稅金ガカッテ居ル、是ハ天日鹽ニ付テハ百斤十錢デアリマスガ、其他ノ鹽ニ付テハ從價三割、是ハ内地ニ於キマシテハ政府若クハ政府ノ許可ヲ受ケタ者ガ鹽ノ輸入ヲ致スコトニナリマスノデ、ソコニ稅ヲ置ク必要モナイノデアリマスガ、カケテモカケナクテモ無關係デアリマスガ、内地ニ於キマシテハ樺太ニ於ケル糧食物等ノ

關係カラ致シマシテ無稅ニ致シタノデアリマス、朝鮮ニ於テハ輸入鹽ノ供給モ極メテ至便且ツ豊富デアリマス故ニ、特ニ無稅迄スル必要ハナイト云フノデ、大體從價ノ二割、十錢ヲ目安トシテ茲ニ課稅イタシテ居ルノデアリマスガ、鹽ノ如キハ生活ノ必需品デアリマスカラ、之ヲ無稅ニ致ス方ガ寧ロ適當デアルノデアリマスガ、一面ニ於テハ木材、石油等ノ主ナルモノニ付キマシテ特例ヲ廢止シテ居リマスカラ、此鹽ニ付テモ同時ニ特例ヲ廢止イタシマシテ内地ハ無稅ト云フコトニ致ス積リデアリマスガ、唯鹽ニ付テハ目下政府ニ於テモ鹽ニ對スル政策ヲ如何ニスルカト云フ問題ニ付テ特ニ考慮セラレテ居リマシテ、現ニ人口食糧委員會ニ於テハ鹽ニ付テノ問題ヲモ提供サレマシテ現ニ審議中デアリマス、朝鮮ニ於テハ輸入サレル所ノ外鹽ト朝鮮内ノ製鹽トガ半々デアリマスガ、全然之ヲ無稅ニ致シマスコトニ付テハソレ等ノ生産者ノ如キモ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ、此鹽ニ付テハソレ等ノ政策ヲ擴充イタシマシテ、一年間ダケ猶豫イタシマシテ、特ニ規則ニ依ッテ一年間ダケ猶豫イタシテ課稅イタスコトニ致シテ、一年間ニ適當ナ方策ヲ定メマシテ之ヲ實行イタシタイト思フノデアリマス、尙ホ其次ニ馬デアリマスガ、馬ニ付テハ内地デハ課稅サレテ居リマスガ、

朝鮮デハ無稅ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ朝鮮ニ於ケル馬匹ノ改良ト云フヤウナ趣旨ニ於テ無稅トナッテ居ルノデアリマスガ、輸入セラレル馬ノ數量ハ極メテ僅カナモノデアリマシテ、而モ種馬ニ付テハ公共團體ニ於テモ、亦個人ガ輸入スル場合ニ於テモ、共ニ無稅トスルコトガ出來ルコトニナッテ居リマシテ、馬匹ノ改良ノ點カラ言ヘバ、既ニ種馬ガ無稅デアル以上ハ特ニ其他ノ馬ニ付テ無稅ニ致シマセヌデモ、馬匹改良ノ上ニ支障ヲ來スコトガナイト考ヘマシテ、之ヲ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、次ニ「コークス」デアリマスガ、是モ内地デ課稅イタシマスガ、朝鮮デハ無稅ト云フコトニ致シテ居リマス、是モ輸入サレル數量ハ極メテ僅カデアリマシテ、而モ朝鮮内ニ於テモ近來相當製造ヲスル者ガ出來テ参リマシタ、特ニ無稅ト致ス必要ハナイト考ヘマシタノデ、之ヲ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、以上大體ニ付テ申上ダタノデアリマスガ、尙ホ詳細ニ付テハ御質問等ニ依ッテ御答ヘ致シマス

○高橋琢也君 政府委員ニ少シ御尋ネシマスガ、先刻カラ頂戴シタ參考書ハ皆大藏省デ出來タモノデ、直接ニ租稅ニ關係シタモノガ多イヤウデスガ、曩ニ議場デ農林大臣ガ林產ト云フコトニ付テ之主ニ説明セラレタコトニ付テノ參考書ト云フモノガ一向見エナイヤウデスガ、マダ後カラ來ルノデスカ、又來ナイト云フコトナラ大分此中ニ伺ヒタイトガアルノデス

○政府委員(矢部規矩治君) 只今來ルサウデゴザイマスカラ、早速御配リ致シマス

○高橋琢也君 今政府委員ノ説明ノ中ニ、朝鮮ガ非常ニ森林ヲ濫伐シテ居ルト云フヤウナコトヲ最初ニ承テカト思フト、後ニ朝鮮ノ事情ニ付テノ木材ノ供給ハ十分デアルト云フヤウナ説明ノヤウニモ聞エタノデスガ、ナヨット私ノ聞キ誤リデアルカモ知レナイ、ソレカラ朝鮮ノ製材ニ付テ、大變製材能力モ十分デアルト斯ウ云フ御話デアリマス、恐ラクハ新義州アタリノ製材、ソレガ盛シニ製材シテ居ルモノデアラウト思フノデス、殊ニ豆滿江カラ鴨綠江ヘカ、テノ御話モ今アッタヤウデアルガ、サウスルト朝鮮側ノ出材ニ對シテデアラウト思ヒマスガ、鴨綠江ハ河一ツ隔ッテ安東縣ノ方、支那ノ木材ヲ大變ニ製材シテ居ル者ガ澤山アル、固ヨリ日本人デアアル、ソレカラ鴨綠江ノコチラ新義州ノ方ニアアルノハ矢張り日本ノ製材者デアッテ、而モ相當ナ立派ナ會社カラ、東京アタリカラモ行ッテ居ルト、私ハ先年見テ來タ所デハサウデアッタ、現在ハドウナッテ居ルカ知レマセヌガ……是等ニ付テ朝鮮ノ木材ガ向フ側ヘ著イタモノハ矢張り向フデ製材スルト云フコトニナッテ、ソレニハ直グ

税ガカ、ル、朝鮮ノ木材ガ新義州ノ方、即チ朝鮮ノ管内ニ入ッテ來テ其處デ製材スルト云フモノニ付テハ課税ヲ免レルト、斯ウ云フ結果ニナルヤウデスガ、ソレハドウ云フ御取扱ニナッテ居ルカ、ソレカラ今鴨綠江ヘ下ダテ來ル木材ト云フモノハ、運搬ガ非常ニ困難ダト云フコトヲ聞イテ居リマスガ何モ河ガ困難ナノデヤナイ、是ハアノ大キナ河デスカラ、水運ニ困難ハナイ筈デアアルデスガ、唯馬賊ガ非常ニ盛ンデアル、此爲ニ屢々木材ヲ押ヘタリ又會社ノ役員ナドガ彼等ニ、甚シケレバ山ノ中ヘ連レテ行カレルヤウナ場合モ起ッテ來ル、サウシテソレヲ質ニ取ッテ置イテ、金ヲ幾ラ〜持ッテ來レバ免シテヤラウト云フヤウナコトガ屢々アル様子デス、ソレ故ニ鴨綠江ヲ下ッテ來ルト云フコトハ朝鮮側ノ木材ニシテモ、亦採木公司ノ木材ニシテモ隨分困難ガアルト云フコトニ聞イテ居リマスガ、ソレハ差支ハナイノデスカ、支那ノ兵隊ナリ日本ノ守備兵ナリガ寄ッテ警護シテ居ッテ、ココラニ危険ハナイト云フコトニナッテ居リマスガ、從テ朝鮮ノ重要木材ト云フモノハ、別ニ滿洲ノ木ヲ仰ガヌデモ自給自足ガ十分ニ朝鮮デ出來テ居ル譯デスカ、斯ウ云フヤウナコトヲ承リタイ

○政府委員(草間秀雄君) 山林ノ荒廢シテ居リマスルコトニ付テハ、先程申シマシタヤウニ、朝鮮ノ中部以南ニ於ケル森林ガ著シク荒廢シテ居ルノデアリマス、併ナガラ先程申シマスヤウニ、鴨綠江、豆滿江方面ニ於テハ御存ジノ通り非常ニ豐富ナル木材ヲ含蓄シタル森林ガアルノデアリマシテ、而シテ其蓄積シテ居ル數量ト云フヤウナモノニ付テモ、曩ニ森林計畫ヲ立テマスル際ニ特ニ専門ノ技術者其他ノ人ヲ招聘シマシテ、實地ヲ踏査イタシマシタ結果、豐富ナル蓄積材ガアルト云フコトヲ確メテ居ルノデアリマス、從テ將來増伐セムト致シマスルノハ、鴨綠江並ニ豆滿江ノ奥地ニ於ケル森林ニ付テ、此増伐計畫ヲ立テヤウト思フテ居ルノデアリマス、尤モ中部以南ニ於テモ多少ハアリマスケレドモ、先ヅ大部分ハ荒廢ノ狀態ニアルト申上ゲテモ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ鴨綠江ノ朝鮮側デ伐リマシテ、之ヲ運材イタシマスルモノハ、總テ一應ハ朝鮮内ヘ持ッテ參ルノデアリマス、朝鮮内デ伐ッタモノガ直ニ向側、安東側ニ行クト云フコトハナイト考ヘテ宜カラウト思ヒマス、唯御存ジノ通り、彼處ハ後デ流シマスカラシテ、時々水害、洪水ト云フヤウナコトガアリマス、後方側ニ流レテ行クトカ、所謂放流木ト云フモノガ可ナリ多イノデアリマス、之ニ付テハ印シヲシテ置キマシテ、支那側デ拾ッタモノ、コチラデ拾ッタモノヲ時々交換決濟ヲ致スコトニナッテ居

リマスカラ、朝鮮内ノ木材ガ向フニ其儘行クトハ、ナイト考ヘテ宜カラウト思ヒマス、コチラノ朝鮮側デ伐採シテ流レタモノハ總テ其儘コチラ側デ引取ルト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ伐採後ノ運材ニ付テ、果シテ豫期ノ通り行クデアラウカ、ドウカト云フヤウナ御心配デアリマスガ、是ハ御尤ノ御心配ト思ヒマスガ、其點ニ付キマシテハ近來尙ホ此木材ヲ運ビマスコトノ困難ナノハ、本流ノ方ハ御存ジノ通り後ニシテ流シマスノニ、サウ大シタコトハアリマセヌガ、本流ニ至ル間ノ支流ノ後ノ運送ガ困難デアリマス、是ハ過去ノ実績ニ依リマシテ、何處ノ支流ニ於テハドレダケノ運材能力ガアルカ、川造リ其他ノ點カラ考慮イタシマシテ、運材ノ能力ヲ能ク調べマシテ、其極メテ確實ナル程度ニ於テ此運材ノ豫定ヲナシテ居リマスカラ、先ヅ大體ニ於テ、豫期ノ通り行キ得ルト思フノデアリマス、殊ニ近來ハ成ルベク輕便鐵道、森林鐵道ヲ數クコトニ致シマシテ、其森林鐵道ガ漸次延長シテ參テ居リマス

○高橋琢也君 チョット私ハ保留イタシテ貰ヒタイト思ヒマス、議場カラ呼びニ參リマシタカラ……

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハ答辯ヲ一時待ッテ貰ヒマセウ……大體アナタノ答辯ハオ終ヒデスカ

○政府委員(草間秀雄君) 大體豫期ノ通り森林鐵道ニ依リマシテ、運材ノ安全ヲ期シテ居リマスカラ、先ヅ豫定ノ通り伐採後ニ於テモ、運材ノ計畫モ實現シ得ルト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵八條隆正君) 御相談イタシマスガ、議案ハ二ツアリマシテ、同一委員ニ付託ニナッテ居ルノデアリマスガ、餘リ質問ガアチラヘ飛ンダリ、コチラヘ飛ンダリスルコトモドウカト思ヒマスカラ、先ヅ此際ハ關稅定率法ノ改正ノ方ニ致シマシテ、之ニ付テ御質問ガオアリナレバ願フ、サウ云フコトニ致シマシテ、如何デスカ、ソレガ終ッテカラ、他ノ法案ニ移リタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○渡邊千代三郎君 私共テョット之ヲ見テモ實ハ分ラヌコトガ澤山アリマスルカラ、今日ハ御説明ガアツタ御説明ヲ拜聽スル程度ニシテ置イテ、質問ハ一應之ヲ讀ンダ上ニサシテ戴クト云フコトニハ參リマセヌデセウカ、實ハ此木材ノコトナント云フモノハ私ハ全ク素人デゴザイマシテ、少シ研究ヲシナケレバ、伺フコトモ殆ド出來ヌヤウナ譯デゴザイマス、會期モ切迫ハ致シテ居リマスケレドモ、質問ヲサシテ戴クト云フコトモ今直グダトテョット出來兼ネマス、成ルベクナラバ、今日ハ政府委員ノ方デ御説明

下サルコトガアレバ、ソレヲ拜聴スルト云フ程度デ止メテ、質問ハ議案ヲ一應通讀シタ上デサシテ戴クト云フコトニシタラドンナモノデセウカ

○委員長(子爵八條隆正君) 只今渡邊君ノ御意見ガゴザイマシタガ、皆様ノ御意見ハ如何デス

○稻畑勝太郎君 サウ願ヒマシテ、此次ノ委員會ノ日ヲマア御定メヲ願フテソレマデニ各自之ヲ能ク讀ミマシテ……

○子爵裏松友光君 私ハ會期モ切迫シテ居リマスシ、此委員長、副委員長選舉後ニ引續イテ會議ヲサレルト云フコトニナッデ居

リマスカラ、御質問ノアル御方ハ此際ニ御質問ナスッテ、成ルベク議事ヲ進行ナスツタ方ガ宜イト思ヒマス、會期モ切迫シテ居ル

コトデゴザイマシ、ソレデ今澤山重要法案ガ貴族院ニ廻ッテ居ル際デアリマスカラ、其方ガ宜カラウカト思ヒマス

○西野元君 御質問ノ點ニ付キマシテハ御尤ノコト、思ヒマスガ、此御提案ノ中、殊ニ木材ノ關稅ノ改正ニ付キマシテハ、農林

省側カラモマダ色々ナル御提案ノ理由モアラウト思ヒマス、御説明ヲ承リマスナラバ、只今ハ最モ適當ナ機會ト存ジマス

○委員長(子爵八條隆正君) 只今御聴キノ通りデシテ、今日ハ初テノ委員會デモアルシ、配付サレタ書類ヲマダ十分見テモ居ラ

ヌコトデアアルカラシテ、今回ハ若シ政府側カラシテ進ンデ説明ヲサレルト云フヤウナコトデアレバ承ッテ置イテ、質問ハ次會ニ譲リタイ、斯ウ云フヤウナ御意見カ出テ居ルモノデスカラ、政府側トシテ先程大藏省並ニ朝鮮總督府ノ政府委員ヨリ一應ノ御説明ガアッタノデアリマスガ、尙ホ農林省側カラ進ンデ御説明ニナルヤウナコトガアリマセウカラ、アレバ此際御説明下サルト、議事進行ノ上ニ於テ大變都合ガ宜イト思ヒマス、例ヘバ林業ノ政策等ニ付テデモ御話ニナルトカ何トカ、サウスレバ政府デモ餘程進行上都合ガ宜イコト、思ヒマス

○政府委員(東武君) 今回此木材關稅ヲ提案サレマシタニ付キマシテハ、是ハ五十一議會ノ當時カラ此木材關稅ノコトハ問題ニナッテ居リマシテ、其當時ニ一般ノ關稅改正ヲヤッタ時分ニ、木材關稅タケハ非常ニ議論ガ多クアリマシテ、希望決議ヲ附シマシテ、サウシテ政府ハ慎重ニ木材關稅ヲ如何ニスベキカト云フコトヲ調査會ニ於テ調査ヲ致シテ、サウシテ更ニ提案ヲスベシト云フ意味ノ希望決議ガ附イテ居ッタノデアリマス、其當時カラシテ此關稅ヲ課スルト云フコトニ付テハ、大體異議ハ衆議院等ニハサウナカッタデアリマス、寧ロ一日モ早ク關稅ヲ増徴ヲシタイト云フ希望ノ決議デア

於キマシテ審議ヲ致シタ結果、漸ク成案ヲ得マシテ今回提案ヲスルコトニナッタ次第デアリマス、我國ノ此木材……林政ト云フモノヲ考ヘテ見マスルト、林政ハ今日迄相當ニ政府ハ力ヲ此點ニハ用ヒタト言ヒナガラ、國有林ニ於テハ大體略、計畫ト、理想的ニ施設ガ進ンデ居ルノデアリマスガ、大體國有林ハ民有林ニ比較シマスルト極ク少イノデアリマシテ、大部分ハ民有林デアアルノデアリマスガ、千七百万町歩カラノ内、國有林ハ四百五十万町歩ノ國有林デアアルノデアリマス、此方ハ政府ハ相當ニ今日マデ施設ヲヤッテ居ルノデアリマス、然ルニ此民有林ハ漸次荒廢ニ屬シマシテ、一向植栽其他ノ施業ト云フモノモ行ハレナイシ、又五十年間ニ互ッテ我々ガ見ル所ニ依リマスト漸次ニ荒廢ニ屬シテ居ル所ガ多イ、伐ッテモ植栽ヲシナイ部分ガ大半アルト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ於テ林政ト云フモノガ如何ニ國家ニ必要デアアルカト云フコトハ、餘リ多ク説明ヲ申上デル必要ハナイガ、治水ノ關係、或ハ生産ノ基本トナッテ……此林業ト云フモノハ各種ノ基

大部分ノ地方債ナドハ治水河川費ニ多ク使ハレルト云フノハ、畢竟是ハ山ヲ治メルト云フコトヲ息々結果デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、其他電氣ノ事業ニ於キマシテモ、山ニ於テ一千万「キロワット」ノ發電能力ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、我國ノ非常ニ貴重ナ富源デアアルニモ拘ラズ、今ノ儘ニ之ヲシテ置クト云フコトハ全ク國家百年ノ大計ノ上ニ於テ、憂フベキ狀態ヲ來スモノガナキニシモ非ズト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、然ルニ一面カラ見マスルト云フト外材ハ滔々トシテ輸入シテ參リマス、諸君ノ御存ジノ如ク一箇年ニ一千万石以上ノモノガ亞米利加カラ輸入ヲスルト云フヤウナコトニナッテ居ル、サウ云フ風ニ國際關係ノ上カラ見マシテモ、誠ニ一億萬圓ト云フ巨額ノモノヲ、外人ニ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナコトニナッテ居ルヤウナ狀態デ、サウシテ内地ノ林業ガ自給自足ガ出來ヌノデアアルカト申シマスルト、殆ド六割以上ハ此山林ノ面積ガアル、而カモ此我國ノ非常ナ耕地全體ノ面積ノ上ニ於テ、大部分ヲ占メテ居ル所ノ林業ト云フモノガ斯ノ如キ狀態デアルト云フコトハ、何レノ方面カラ見マシテモ、國家生存ノ上ニ大ナル問題ト考ヘマシテ、今回此林政ノ確立ヲシタイト云フコトヲ考ヘマシテ、ソレニ對シテハ先ヅ第一ニ民有林ト云フモノヲ此儘ニシ

テ置イテハ、到底所期ノ目的ヲ達スルコト
ガ出来ナイカラシテ、此民有林ノ助成ノ方
法ヲ一面講ジマシテ、サウシテ之ニ對シマ
シテハ相當ニ國家ガ助成ヲスルト云フコト
ニ致シテ居ルノデアリマスガ、民有林ノ中
ニハ公有林ト云フモノモアルシ、或ハ私有
林ト云フモノモアリマスガ、大體ノ計畫カ
ラ申シマスルト、昭和四年度カラシテ昭和
二十三年度ニ至ル二十箇年ノ計畫ヲ立テマ
シテ、此計畫ニ依リマシテ第一期ハ、四
十五万千百二十六圓ト云フモノヲ第一期分
ノ經費ニ支出スル考ヲ持テ居リマス、サウ
シテ總テノ造林ノ助成ヲシ、或ハ森林ノ組
合ヲ設立シ、或ハ森林ノ利用改善、即チ林
道デアルトカ、索道デアルトカ、或ハ木炭
倉庫ノ建設デアルトカ、改良炭竈ノ築設デ
アルトカ、斯様ナモノニ向テモ相當ノ施設
ヲ爲スト云フコトノ方針ヲ立テテ居リマス、
又森林組合ト云フモノモ漸次之ヲ計畫イタ
シマシテ、是等ノモノニ向テ森林ノ自治的
ノ精神ヲ涵養スルト云フ方面ニ力ヲ盡シ、
又山林會ナドモ漸次起シマシテ、サウシテ
此山林會ナドニモ相當ノ補助ヲスルト云フ
ヤウナコトニ致シ、其府縣ニ補助ノ職員ナ
ドヲ設置イタシマシテ、技師デアルトカ、
技手技師員ト云フモノヲ設ケマシテ、サウ
シテ是等ノモノト合セテ此林業ノ……民有
林ノ造林ニ關スル所ノ經費ヲ要求シ、幸ヒ

是ハ豫算ハ通過イタシテ居ルノデアリマ
ス、其外ニ林野ノ保護獎勵ニ關スル所ノ經
費ナドモ之ヲ豫算ニ要求致シテ居ルノデア
リマスガ、是ハ林野ノ火災其他ニ於ケル警
防施設ノヤウナモノガ主モデアリマスガ、
電話ヲ架設スルトカ、監視ノ吏員ヲ置クト
云フヤウナ方面ヲ徹底的ニ一ツ保護獎勵ヲ
シナケレバナラヌト云フノデ、是等ノ經費
ヲ要求イタシテ居ルノデアリマス、其他又
國有林ノコトハ、總テ國有林天然更新ノ施
設ト云フヤウナモノモ致シテ居ルシ、又施
業ノ方法ノ經費ナドモ要求イタシ、ソレカ
ラ市町村ニ交付金ヲ渡ス、是ハ東北地方ニ
ハ殆ド軒下カラ國有林ト云フモノガアッテ、
年々國有林ニ對シテ非常ニ怨嗟ノ聲ガアル
ノデアリマスカラ、漸ク本年之ヲ解決シ
マシテ、四十五万圓……金額ハ少イノデア
リマスガ、是ハ地租ノ附加税ニ當ルモノダ
ケヲ、國有林ノ非常ニ多イ町村ニ地租額ダ
ケノモノヲ詰リ交付スルト云フ所ノ經費ヲ
要求致シ、是等モ豫算ガ既ニ通過シテ居ルノデ
アリマス、其外ニ公有林ノ官行造林ト云フ
ヤウナモノニ付テモ相當ノ經費ヲ要求シ、
施設ヲヤツテ居ル次第デアリマス、又小サイ
問題ニナリマシテハ、例ヘバ木材ノ利用改
善ニ對スル所ノ經費デアルトカ、或ハ森
林ノ生態狀態ヲ調査スルトカ云フ、改善
試験ニ關スル所ノ經費デアルト云フヤウナ

モノヲ以テ要求イタシテ居ルノデアリマス
ガ、幸ヒ是ハ協賛ヲ得マシテ、豫算ハ通過
イタシタノデアリマスガ、是ト相俟テ此關
稅政策ト云フモノヲ、ドウシテモ立テナケ
レバ、我國ノ林政ノ根本ノ政策ガ立行カヌ
ト云フコトヲ考ヘマシテ、關稅ノミニ依
テ、又餘リ障壁ヲ關稅ニ依ッテ高クスルト云
フコトニナレバ、消費者ヲ脅威スルト云フ議
論ガ直チニ起テ來ル、社會政策ニ反スルト
云フヤウナ議論モ起テ來ルノデアリマス
ガ、是等ハ非常ニムヅカシイ問題デアリマ
シタガ、種々調査研究ノ結果、餘リ多クノ消
費者ニ負擔ヲ増スト云フヤウナコトハシナ
イ程度ニ於テ、又關稅ノ上ニ於テモ餘リ高
イモノヲ掛ケレバ報復關稅ト云フヤウナコ
ト云フヤウナコトモ多少考慮シナケレバナ
ラヌト云フノデ、大體一割二分カラ二割内
外ノ程度ニ於テ、今回此林業……木材關
稅ヲ増徴スル案ヲ提出イタシマシタ、其金
額ハ約六百五十万圓バカリニナリマス
ガ、此六百五十万圓ハ實ハ收入ト云フコト
モ全然見込マヌ譯デアリマセヌケレドモ、
實ハ此林業政策ト云フモノカラ出發シテ居
ルノデアリマス、林業政策ヲヤルノニハ、ド
ウシテモ關稅ト云フモノヲ或程度ニ掛ケナ
ケレバ、内地ノ民有林ノ保護ト云フコトモ
出来ナイ、助成ト云フコトモ全ク出来ナイ、

今日ハ山村水廓ト申シマスルカ、天龍川ノ上
流デアルトカ、或ハ所謂飛驒ノ大平峠デア
ルトカ、或ハ各山村ト云フモノハ實ニ何トモ
言フベカラザル悲況ニ陥ッテシマッテ、ソレ
ガ爲ニ木材ヲ伐ッテモ、詰リ之ヲ再植スルト
云フヤウナコトガ出来ルダケノ力ガナイ、
殆ド自然ニ放任シテ置イテ安クテモ賣ッテ
食ッテ行クトモ云フヤウナ狀態ニナッテ、今
日殆ド社會問題迄ニ化スルヤウナ狀況ニ
ナッテ居ルノデアリマス、是ハ詳シイコトハ
又色々御説明モ申上ゲマスルガ、木材關稅
デモ掛ケルト云フト、濫伐ガ行ハレルト云
フ反對論ガアリマスガ、私ノ考ヘル所ニ依
リマスレバ、サウ云フ懸念ハ餘リ起サナイ
ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ハ統計其
他ニ於キマシテモ、安イト云フト仕方ナク
多クノ面積ヲ賣ッテ、辛ウジテ役場ノ經費モ
拂フ、其他地租ノヤウナモノヲ拂フト云フ
場合ニモ、何モ無イ爲ニ、祖先傳來ノ木ヲ
賣ッテ辛ウジテ生活ヲスルト云フヤウナ狀
態ニナッテ居ル爲ニ、却ッテ濫伐ナドガ多ク
ナルト云フヤウナ傾向ガアルノデアリマ
ス、又伐ッタ所ニ對シテモ、到底林業ト云フ
モノハ引合ハヌト云フコトニナッテ居ル爲
ニ、投ゲヤリニシテシマッテ、荒蕪地ニナル
ト云フヤウナ今日ノ狀態デアル、若シ此儘
ニ長ク、今後十年十五年此儘放任シテ置ク
ト云フコトニナルト、全ク國土ノ保安ト云

フモノモ付カナイト云フコトヲ深く考ヘマス、今回此助成ヲスル爲ニハ民有林ニハ種子ニ補助ヲスル、或ハ植エタ所ニ對シテ例ヘバ一町歩百二十圓掛ルトスレバ、其四分ノ一ト云フモノヲ詰リ民有林ノ植栽ヲシタ者ニ助成スルト云フ方法ナゾヲ採リマシテ、而シテ先ヅ二十年間ニ我國ノ木材ノ自給自足ヲスルト云フ計畫ヲ立テ、大體之ヲ第一期ト致シテ居ルノデアリマス、此四十年間

ラ、尙ホ御質問ガアリマスレバ、詳シイコトハ山林局長ヨリ御説明申上ゲマス、極ク大體ダケヲ申上ゲテ置キマス
○子爵裏松友光君 只今東次官ノ御説明デ、木材關稅ノ引上ゲノ色ニ必要ナル理由モ能ク分リマシタガ、根本問題ト致シマシテ、森林金融、或ハ更ニ森林保險ト云フヤウナ、サウ云フ風ノ問題ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタノデアリマス

ゾ兎ニ角見合セヤウザヤナカト云フコトニナリマシテ、實ハ山林局長ナドハ非常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、實ハ提案スルコトノ運びガ出來ナカッタノデアリマスガ、是等ハ是非我國ノ山林ト云フモノハ、非常ニ大キナ巨額ノ財產ヲ死藏シテ居リマシテ、是ハ保險ナドモ多少二三ノ保險會社ガ保險加入ヲ許シテ居ル所モアリマスケレドモ、是ハ極メテ微々タルモノデアリマスガ、此森林保險ナゾト云フヤウナモノハ、出來レバ是ガ經濟的ニ活用セラレルヤウニナッタナラバ、一段ト金融ノ便利モ得ル

ナ狀況デアリマス、ドナタデモ宜シウゴザイマス
○政府委員(八江魁君) 地方ノ山林會、森林會ニ付キマシテハ、現在ニ於キマシテハ殆ド振ハザル狀態デアルト云フコトヲ申上ゲタイト存ズルノデアリマスガ、唯是ニ付キマシテ、先程東次官カラ申上ゲマシタヤウニ、本年御協賛ニ相成リマシタ豫算ニ依リマシテ、相當ノ補助ヲ各地方ノ山林會等ニ與ヘ、或ハ山林會ノ仕事ニ對シマシテモ補助ヲ與ヘル或ハ此技術員ヲ設置イタシマシテ、總テノコトヲ計畫イタシマスモノニ對シマシテモ、補助ヲ致シマス云フ風ナ法ヲ立テマシテ、是非トモ地方森林界ノ活動ヲ促スト云フ考ヲ持ッテ居リマス、從ヒマシテ今年御協賛ニ相成リマシタ豫算ニ依リマシテ、昭和四年度ト致シマシテハ、十分活動シ得ルト云フ狀態ニナルコトグラウト思フノデアリマス、又森林組合ノ方モ先程、東政務次官カラ申上ゲマシタヤウニ、現在ニ於キマシテハ殆ド矢張り是モ極ク僅カシカゴザイマセヌ、數百ノ組合シカゴザイマセヌノデ、コレニ付キマシテモ此度ハ是非森林組合ノ設置ヲ圖リタイ、殊ニ山ノ經營ト申シマスルノハ、小面積ノモノデアリマスト、ドウシテモ總テニ付テ施設計畫ト云フモノガ旨ク行カナイノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、大體小サナ所有者

テ、總テ完全ニ理想的ニ我國ノ木材ノ自給自足ヲシテ、サウシテ優ニ國土保安ノ實ヲ全クスルト云フ、理想的ニヤレバ、先ヅ四十年掛ル、先ヅ差當リ第一期計畫トシテ二十年計畫ヲ立テ、之ニ對シテ内地ノ林業政策ノ助成政策ヲ立テ、置イテ、同時ニ亞米利加カラ多ク這入ル所ノ木材關稅ニ或程度ノ課稅ヲ致シテ、之ニ依ッテ兩々相俟シテ、サウシテ始メテ我ガ林業ノ根本基礎ヲ確立シタイト云フヤウナ考ヲ以テ、今回木材關稅ノ引上ノ提案ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、細カイコトハ、數字ニ付テ申上ゲレバ澤山申上ゲタイコトガアリマスガ、大體サウ云フヤウナ方針デ今度ノ關稅ノ提案ヲ致シタ次第デアリマスガ、何卒御審議ヲ仰ギマシテ此提案ニ對シテ御賛成アラムコトヲ、特ニ切望スル次第デアリマス、山林局長モ丁度此方ニ出席イタシテ居リマス

問題デアリマスガ、當局者ト致シマシテハ相當ニ研究モシ、考慮モ致シテ居ルノデアリマスガ、本年ハ森林保險ト云フモノヲ是非出シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマシタ、是ハ保險調查會ト云フモノガアリマシテ、此保險調查會ハ十數回ノ審議ヲ致シマシテ成案ヲ得タノデアリマス、成案ヲ得テ此議會ニ是非提案ヲシタイト、ソレダケノ成案ハ出來テ居ルノデアリマシタガ、何分ニモ本年ハ農林省所管ト致シマシテハ、新シイ問題ガ大分色ミノモノガアリマシテ、家畜保險ナドモアリマシテ、農業保險ナゾト云フヤウナコトモ現レテ、色ミ研究イタシテ居ルノデアリマスガ、森林保險モ是非ハ必要デアルカラ、今期議會ニ提案シヤウト云フコトヲ考ヘテ居リマシタガ、何分ニモ餘リ法案ガ多イ爲ニ、之ヲ一氣ニヤルト云フコトハ多少無理ガアルカラ、今年ダケハ先

シテ、今日デモ餘リ多クノ金デアリマセヌケレドモ、相當ノ金ヲ……矢張り低利資金ナゾヲ運用シテ居ルノデアリマスガ、此點ハ何レノ場合ニモ質問ナドヲ受ケルノデアリマスガ、出來ルダケサウ云フ方面ニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス
○子爵裏松友光君 森林保險ノ一日モ早く實現セラレムコトヲ望ミマス、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイトハ地方ノ山林會、或ハ森林組合ト云フヤウナモノハ、ドウ云フ風

活動シ得ルト云フ狀態ニナルコトグラウト思フノデアリマス、又森林組合ノ方モ先程、東政務次官カラ申上ゲマシタヤウニ、現在ニ於キマシテハ殆ド矢張り是モ極ク僅カシカゴザイマセヌ、數百ノ組合シカゴザイマセヌノデ、コレニ付キマシテモ此度ハ是非森林組合ノ設置ヲ圖リタイ、殊ニ山ノ經營ト申シマスルノハ、小面積ノモノデアリマスト、ドウシテモ總テニ付テ施設計畫ト云フモノガ旨ク行カナイノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、大體小サナ所有者

ノ、詰り少サナ山林家ト云フモノヲ集メマシテ、大體單位ヲ一千町歩ニ致シマシテ、サウシテ其森林組合ヲ作ラシメマシテ、其森林組合ニ依リマシテ總テノ事業計畫ヲ立テシムルト云フ風ナ方針ヲ立テマシテ、本年ハ豫算ヲ組ンデ居ル次第デアリマス、現在ニ於キマシテハ誠ニ遺憾ナガラ山林會、森林組合ト云フ風ナモノハ殆ド活動ノ狀況ニ達シナイト云フ狀態デゴザイマス

○子爵裏松友光君 モウ一ツ伺ヒマスガ、山林ノ損害ノ一番多イモノハ火災ニ依ルコトデアラウト思ヒマスガ、其火災ニ對スル色モ防遏、火災ノ豫防ト云フヤウナモノハドウ云フヤウニ爲サテ居リマスカ

○政府委員(入江魁君) 御尋ノ如ク種々ナ山林ニ對シマスル災害ガゴザイマスルガ、就中火災ト云フモノガ最も多イノデアリマス、之ニ對シマシテハ唯今マデハ殆ド政府ノ持ッテ居リマスル豫算ト云フモノハ無イノデアリマス、甚ダ遺憾ノ點ガ少クナカッタノデアリマス、併シ之ニ對シマシテモ本年度極ク僅カデアリマスガ、豫算ヲ計上シテ居リマシテ、或ハ森林ニ對シマシテハ監視員ヲ置キマスルカ、最も火災ノ多イ所ニ於キマシテハ電話ヲ架設イタシマシテ、サウシテ出來ルダケ早ク防止セシメルヤウニシタイト云フヤウナ方法ヲ此昭和四年度カラ取ル考ヲ持ッテ居リマス、唯、申上

ダテ置キマスルコトハ、從來火災ニ對シマシテ豫算等モ全然ナカッタノデアリマスガ、之ニ對シマシテハ出來ルダケ宣傳ノ方法ヲ採リマシテ、各所謂府縣ニ於キマシテ山林會或ハ山林ノ系統ノ役所ニ於キマシテ、或ハ之ニ對シマシテ其豫防ヲスル、豫防ニ付キマシテ講習講話ヲ致シマスルカ、或ハ活動寫眞ヲ以テマシテ、之ニ對シマシテ火災ノ危險ナルコトヲ宣傳イタシマス、左様ナコトヲヤッテ居リマス、是モ遺憾ナガラ豫算ト云フモノガ無カッタ爲ニ十分ノ活動ガ出來ナイノデ之ヲ遺憾トシテ居リマスガ、幸ヒ最近ニ於キマシテ火災ノ非常ニ危險デアルト云フコトヲ地方民ニ知ラセルト云フ關係カラ致シマシテ、静岡縣ニ於キマシテ縣廳、帝室林野管理局、國ノ役所デアリマス營林署、其他青年團、在郷軍人會ト云フヤウナ總テノモノガ一團トナリマシテ、三日間バカリ火災防止「デー」ト云フモノヲ静岡縣下デ一齊ニヤリマシテ、サウシテ火災季節ノ火災ノ多イ時ニ防止シタイト云フヤウナコトヲヤッテ居リマス、サウ云フ風デ只今デハ宣傳ニ依ッテ防止ヲシテ居ルニ過ギナカッタノデアリマス、併シ本年ヨリ御協賛ニナリマシタ豫算ニ依リマシテ、相當之ニ對スル施設ヲ計畫シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○西野元君 此木材關稅ノ改正ニ依リマシテ消費者ニドノ位ノ程度ノ影響ヲ與ヘルト云フコトノ御見込デアリマセウカ、是ハ極メテムヅカシイ問題ト思ヒマスガ大體我我ノ極ク概念ヲ得ル爲ニ、適當ノ程度ニ於テ御説明ヲ承ハレバ仕合ト思ヒマス

○政府委員(東武君) 大體此今度ノ關稅ニ依リマシテ、假リニ之ヲ一割ノ此騰貴率ニスルト建築費ニ對スル歩合ハ百分ノ三位ニ過ギナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ木材ノ方ハ大體ハ建築費ノ三割位ト見テ居ル、三割位ガ建築費ニナル、サウスルト云フト此木材價格ノ一坪當リガ百圓トスレバ木材ガ十五圓、日本材ガ十一圓、北洋材ガ四圓、計三十圓、一坪當リガ八十圓ノ建築ニスレバ木材ガ十八圓、日本材ガ二圓、北洋材ガ五圓、計二十五圓、ソレカラ一坪當リ五十五圓ニ致シマス木材ガ十四圓、北洋材ガ四圓、計十八圓ト云フモノデアリマスガ、是ハ一坪當リデアリマスガ、先ヅ大體此一坪當リノ五十圓ノモノトスルト十八圓位ノ詰リモノガ掛カル、斯ウ云ウ風ニ見テ居ルノデアリマス、木材建築費ノ三割ガ木材價格ト見マシテ、假リニ關稅ニ依ル騰貴率ヲ一割トスレバ建築費ニ對スル歩合ガ百分ノ三、百圓ニ付テ三圓ニ過ギナイト云フヤウナ見當ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ成ルベク消費者ニハ負擔ヲ重クシタクナイト云フ考デアリマス、又一面カ

ラ考ヘテ見マスと云フト、此山林業ニ依ッテ衣食シテ居ル者ハ非常ニ多イノデアリマス、其後ハ殆ド四百何十萬戸ト云フヤウナモノガ此山林業デ生活シテ居ル、先程申上ダタヤウニ天龍川ノ上流ニ行キマスルト、百二十戸位アル村デドウニカ斯ウニカ生活ガ立ッテ行クノハ、三軒位デアル、ソレガ役場ノ前ニアル所ノ店屋ガ一軒ニ産婆ト、ソレカラ御醫者トカ云フヤウナ三軒位シカ殆ド生活ノ立ッテ居ルモノハナイ、アトハ皆賣リ食ヒヲシテ居ルト云フヤウナ見ルニ忍ビナイ慘狀ヲ呈シテ居ルノデス、是ハ全ク林業バカリ收入ニシテ居ル所ハ、國家ガ何トカシナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニナッテ居ルデアリマスルガ、都市ノ消費者モ大事デアリマスルガ、又一般ノ之ニ依ッテ生業ヲ營ンデ居ル者モ多少緩和シテヤル必要ガアリマシタ爲ニ、餘リ負擔ヲ重カラシメズシテ幾分デモ其方面ニ助カルナラバト云フノデ、大分此點ハ考慮シタ積リデアリマス

○西野元君 先刻、東政府委員ヨリノ御説明ノ中ニモテヨット御話ガアリマシタガ、此木材ノ關稅ヲ引上ダタ場合ニ、内地ノ森林ニ寧ろ濫伐ガ行ハレテ、内地ノ森林ヲ荒廢ニ歸セシムル虞レガアリハセヌカト云フコトガ、一部ノ人ノ心配シテ居ル點ノヤウニ思ヒマス、ソレハ却テサウデナイダラウト

云フヤウナ御話モアリマシタノデゴザイマスガ、其點ヲ今少々精シク御話ヲ承ハルコトガ出來レバ……

○政府委員(入江魁君) 私カラ申上マスガ、世上ニ行ハレテ居リマスル木材關稅ニ對スル今御話ノヤウナ點ガ最モ主モナル反對論ニ相成テ居ルノデアリマス、併シ木材ノ伐採數量ト云フ風ナモノヲ統計カラ申セバ、大正七八年時分ノ戰時最モ好況時代ニ於キマシテ、經濟界ノ最モ活動シタ時代デアリマスガ、其時分ニ矢張り此木材價格モ著シク昂騰シテ、大體現在ノ價格ヨリモ二倍乃至二倍以上ノ價格ヲ致シテ居タノデアリマス、一例ヲ申セバ、現在一石十圓スル所ノモノガ、其當時ハ二十五圓或ハ三十圓ト云フ風ナ見當ニナツテ居タノデアリマス、其時ノ伐採數量ハドンナ風ニナツテ居ルカト申セバ、民有林ダケデ二十二万七千六百四十町歩ト云フモノガ伐ラレテ居タノデアリマス、ソレニ對シテ植栽スル方ハ七万三千町歩、斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、非常ニ開キガ多ク、木材價格ガ昂騰シタ時ニ於テハ伐採數量ガ多イ、言ヒ換ヘレバ濫伐サレテ居ルト云フコトニナツテ居リマス、次ノ八年ニ於キマシテモ矢張り同ジデゴザイマシテ伐採數量ハ十九万七千町歩、ソレニ對シマシテ植林イタシマス方ガ六万九千町歩ト云フコトニ相成テ居リマ

ス、其後木材價格ガ段々低落イタシテ參テ來タ關係カラ致シマシテ、伐採數量等モ段段減テ參テ居リマス、大正九年カラ十年、十一年、十二、十三、十四、十五ニ至リマスル間ニ於テハ、大體ノ伐採數量ハ十五万乃至十八万ノ間ヲ辿テ居リマス、ソレガ最近ニ至リマシテ、木材價格ガ著シク暴落イタシマシタル今日ニ於キマシテハ、其伐採數量ハ著シク殖エテ參リマシテ、最近五箇年間ノ平均ヲ申上ダマスト云フト、伐採數量ハ十七万三千町歩ト云フコトニナツテ居リマス、植栽ガ八万町歩ト云フコトニナツテ居リマス、昭和二年ニナリマススト云フト、其伐採數量ガ十九万三千町歩ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、從テ著シク木材價格ノ騰貴イタシマシタ時ノ大正七八年ト云フ風ナモノト殆ト同ジヤウニナツテ來タト云フコトハ、先程、東次官カラ申上ゲマシタヤウニ、米材ガ這入ッテ參リマスル關係上、米材ノ爲ニ價格ト云フモノガ著シク低落イタシマシテ、而シテ其結果ト致シマシテ、森林家ハ矢張り生活シナケレバナラヌト云フ風ナ現狀カラ致シマシテ、自分ノ持山ヲ如何ナル價格デモ賣拂フト云フ現狀ニ相成タノデアリマス、サウ云フ結果ト致シマシテ、非常ニ木材價格ノ下落イタシマシタ今日ガ、矢張り木材價格ノ最高ノ時ト同ジヤウニ濫伐サレテ居ルト云フ憂フベキ現象デ

アリマス、唯、茲デチヨット申上ゲテ置キタイノハ、大正七八年時分、伐採數量ガ非常ニ多カッタト、而シテ植材ノ方ノ、造林ノ方モ減テ居ルト云フコトガ時々此點ニ關シマシテ御質問ガアルノデアリマス、木材價格ガ上テ來レバ、ソレダケ造林トカ、手入トカ、撫育トカト云フ風ナモノモ殖エテ來ル、然ルニ大正七八年時分ニハ、統計ノ示ス所ハ減テ居ルデハナイカト云フ御疑念ガアルノデアリマスガ、是ハチヨット申上ダテ置キマスノデアリマスガ、大正七八年時分ニハ非常ニ好景氣デアル關係カラ致シマシテ、山林家ハ從テ矢張り伐採シタ、所謂濫伐シタト云フコトニナツテ居リマスガ、其結果ト致シマシテ山林家ハ造林シテ十分ニ收入ヲ得テ居タノデアリマスガ、如何セン、經濟界ガ好景氣ノ爲ニ山デ働クベキヤウナ労働者ト云フモノガ皆都會ニ集マツテ來ルト云フ風ナコトカラ、山林ノ造林人夫ト云フヤウナ者ヲ得ルコトガ非常ニ困難デアッタノデアリマス、私ガ申上ゲマス迄モナク苗木ト云フヤウナ風ナモノハ一年二年デ出來マセヌノデ、矢張り相當山ニ植エマスル場合ニ於テハ、二年三年位ノ床替ト云フ風ナコトヲシテ植エルト云フヤウナ譯デ、非常ニ景氣ガ好カッタト云フ關係カラ、苗木ヲ得ルコトガ非常ニ困難デアッタト云フ結果カラ致シマシテ、大正七八年ニハ非常ニ伐

採ヲサレタ、又植付モ少ナカッタト云フ形ニナツテ居リマス、サウ云フヤウニ今日ニ於キマシテハ、今申上ダマシタヤウニ大正七八年ノ景氣ト同ジヤウニ濫伐サレタト同ジ狀態ニナツテ來テ居リマシテ、而シテ收入ガ今日デハ非常ニ激減シテ來タ、其關係カラ其跡地ニ造林スルト云フコトヲ致サナイノデアリマス、又一方ニ於テ手入、撫育ト云フヤウナコトヲ急テ行ク、斯ウ云フ風ナ形ニナリマシテ、山ハ益々荒廢シテ來ル、是ハ申ス必要ハ無イノデアリマスガ、山其モノハ其儘ニシテ置ケバ宜イト云フ御議論モアリマスガ、實際申シマススト云フト、山ハ相當ノ手入ヲ致シマセヌト互ニ生存競争ヲ致シテ枯レテシマフ、而モ伐期ニ達シテ居リマス所ノモノハ伐テ、適當ニ間ヲ抜イテヤルト云フコトニ致シマセヌト、總テ山ガ段々矢張り林相ト云フモノガ惡クナツテ參リ、從テ水源上ノ問題ニ對シテモ、由々シキ問題ヲ起スト云フヤウナ形ニナツテ來ルノデアリマス、最近、今申上ダマシタヤウニ非常ニ濫伐サレテ來ルヤウナ形ニナツテ參リマシタ、是ハ詰リ申シマススト云フト、收入ガ減タ、收入ガ減タカラシテ、一方ニ於テ造林モシナイ、又一方ニ於キマシテ收入ガ減リマシタカラ、從來ハ一町歩デ生活シテ居タ者ガ、二町歩モ伐ラナケレバナラヌト云フ現象ニナツテ來タノデアリマス、マアサ

ウ云フ状態デゴザイマスノデ、要スルニ最
高ト最低ト云フ場合ニ於キマシテハ濫伐サ
レルト云フ風ニ統計上、形ニナッテ居リマス
○西野元君 尙ホ農林省カラ戴キマシタ参
考書ノ中ニアリマスノカモ知レマセヌガ、
マダ能ク拜見シマセヌノデ、先刻御説明ノ
アリマシタ詰リ外國材ノ輸入ガ無クトモ、
我國ノ將來ニ於ケル木材ノ供給ハ、十分自
給自足デヤッテ行ケルト云フコトガ我々ノ
最も懸念シテ居ル所デアリマスガ、是等ニ
付キマシテハ、尙ホ數字ニ付テ我々ガ了解
スルコトガ出来レバ大變仕合セト思ヒマ
ス、今日デナクテモ宜シウゴザイマス、何
カ適當ノモノヲ戴キタイト思ヒマス
○政府委員(入江魁君) 數字ニ付テ參考書
ヲ差上ゲル積リデアリマスガ、簡單ニ一言
申上ゲテ置キマス、大體我國ノ林野ハ先
程、東政務次官カラ申上ゲマシタヤウニ、
北海道ヲ除キマシテ内地ノ林野ト申シマス
モノハ約千七百町歩ゴザイマスノデ、其
地積等ヨリ考ヘテ見マシテモ尙ホ相當ノ實
ハ餘力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、之ニ付キ
マシテ實際ノ關係ヲ簡單ニ申上ゲマスト云
フト、現在我國ニ於キマシテ需要イタシマ
スル數量ト申シマスモノハ、用材ト薪炭材
トヲ合セマシテ約一億九千万石近クノ材木
ヲ要スルト云フ形ニナッテ居リマス、其中デ
以テ用材ト云フ方面ニ於キマシテハ五千三

百有餘万石ノ必要ニナッテ居リマスガ、尙ホ
殘リノ一億三千万石ト云フモノガ大體ニ於
キマシタ薪炭材ニナッテ居リマス、此薪炭材
ノ方面ニ於キマシテハ、大體現在ノ森林ノ
地積カラ考ヘマシテモ、又色々ノ點カラ考
ヘマシテモ薪炭材ニ對シテハ、此需要ニ對
シテハ相當之ニ對シマスル蓄積量ヲ有シテ
居ルト云フ形ニナッテ居リマス、唯、如何
セン前ニ申上ゲマシタ用材方面ニ於キマシ
テハ、大體日本ノ現在ノ蓄積カラ考ヘマス
ト云フト、今ノ所デハ約一千万石見當足リ
ナイコトニナッテ居リマス、其一千萬石ハ流
木材積デアリマス、是ハ用材積ニ直シマス
ト約八百萬石ノ不足ヲ告ゲテ居リマス、其
八百萬石ノ中デ大體樺太、北海道カラ參リ
マス用材ト云フヤウナモノハ年々四百萬石
以上ニ上ッテ居リマスノデ、樺太、北海道等
カラ參リマス所ノ四百萬石ヲ差引キマスナ
ラバ、現在實際ニ於テ不足スル所ノ數量ハ
四百萬石見當ニナッテ居リマス、ソレガ今先
程政務次官カラ申上ゲマシタヤウニ亞米利
加材ガ、言ヒ換ヘレバ亞米利加材ノ御厄介
ニナルベキ數量ト云フモノハ四百萬石見當
デ宜シイモノガ、昭和三年度末ニ於キマシ
テハ一千四百萬石這入ッテ參ッタノデアリマ
ス、從テ言ヒ換ヘレバ四百萬石デ宜イ所ノ
モノガ、一千四百萬圓以上モ這入ッテ來テ居
ルト云フ形カラ致シマシテ、チヨット此處デ

御參考マデモ申上ゲテ置キタイノハ、此米
材ト申シマスノハ從來日本ニハ餘リ這入ッ
テ參リマセヌデシタガ、或ハ二三萬石見當
ノ數量シカ日本ニハ輸入サレナクッタノデ
アリマス、其後大正九年ニナリマシテ八十
萬石ノ輸入ヲ見タノデアリマス、其後震災
等ノ關係モゴザイマシタノデアリマスガ、
逐次ニ數量ガ殖エテ參リマシテ、遂ニ一千
石見當ノモノガ毎年毎年入ッテ來ル、昨年末
ニ於キマシテハ、今申上ゲマシタヤウニ一
千四百萬石、金額ニ致シマシテモ一億一千
圓ト云フヤウナ巨額ニ上ッタノデアリマス、
サウ云フ風ニ内地ノ需要ノ以上ニ入ッテ來
ルト云フコトハ、木材ノ價格ガ下落シタト
云フ私共考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、從
テ此内地ニ入ッテ參リマス米材ガ非常ニ數
量ガ多クナッテ來タ、サウ云フ關係カラ致シ
マシテ、假リニ此京濱ノ市場ニ付キマシテ
申上ゲマスト、所謂輸入材ノ數量ガ非常ニ
多クナッテ來ル、輸入材ガ多クナッテ來ル關
係カラシテ、木材ノ相場ト云フモノハ從來
日本材ヲ以テ總テノ標準トシテ居ッタノデ
アリマスガ、今日ハ既ニ米材ト云フモノガ
其標準ニナッテシマッタ、從テ米材ノ價格ノ
如何ニ依ッテ日本材ガ左右サレテ居ル、日本
材ハ米材ガ下レバ直ニ下ル、而モ其關係ガ
亂高下ガ甚シイ爲ニ、思惑ト云フモノノ關
係モアルノデアリマスガ、色々サウ云フ風

ナコトカラ致シマシテ、相場ガ始終亂高下
イタシテ居ルト云フヤウナコトカラ致シマ
シテ、材木其モノノ價格ト云フモノモ實ニ
不安定ノ狀態ニ置カレテ居ル、而シテイツデ
モ米材ニ追隨スルト云フ形ニナッテ居ルノ
デアリマス、其爲ニ一方ニ於キマシテハ材
木其モノノ濫費ガ非常ニ行ハレテ來テ居
ル、從テ節約シテヤリ得ルヤウナモノヲ節
約セズニ、マア御覽ノ通りニ、最近鐵筋混
凝土ノ家屋ナンカガ建築サレテ居ルノデア
リマスガ、其鐵筋混凝土ノ梓デアリマス
カ云フヤウナモノハ二遍モ三遍モ或意味ニ
於テ使フコトガ出來ルノデアリマス、ソレ
ヲ今ノ所デハ壞ス費用ノ方ガ寧ロ高イ、米
材ノ方ガ安イト云フヤウナ關係カラ致シマ
シテ、最近ニ於キマシテハ焚物ニシテシマ
テ焚イテシマフ、サウシテ又新シイモノヲ
入レテ來ルト云フヤウナコトデ、非常ニ材
木ノ濫費ト云フモノガ行ハレテ來ル、一方
ニ於テハ今申上ゲマシタヤウニ内地ノ森林
ハ荒廢シテ來ルト云フヤウナ現狀ニアリマ
ス、亞米利加ノ森林業ト云フヤウナモノハ
私共ノ推算イタシマス所ニ依リマス、今
後三十年後ノ壽命シカ持ッテ居ナイト云フ
風ナ調査ガ出來テ居リマス、其三十年後ニ
於キマシテ日本ノ森林ト云フモノハ今申上
ゲマシタヤウニ非常ニ荒廢ニ歸シテシマ
フ、其荒廢ニ歸シタ後ニ需給關係カラ考ヘ

テ見マシテモ誠ニ由タシキ問題ガ生ジハシ
 ナイカ、殊ニ今申上デマシタヤウニ、必要以
 上ノモノガ入ッテ來テ、而シテ日本ノ相場
 ヲ崩ス、相場ヲ崩ス爲ニ、日本内地ノ森林
 業者ハ收入ガ無クナッテシマフト云フヤウ
 ナ現狀デアリマスノデ、所謂需給ノ關係カ
 ラ考ヘテ見マシテモ、亦現在ノ森林ノ狀態
 ヲ進展サセマス上ニ於キマシテモ、或程度
 ニ米材ノ輸入數量ヲ阻止シタイト云フ考ヲ
 持ッテ居ルノデアリマス、從テ私共ハ決シテ
 米材ノ全部ヲ阻止スルト云フ考ハ持ッテ居
 ナイノデアリマス、或程度ノ米材ノ輸入ハ
 ドウシテモ免レナイ、又日本ノ現在ニ於キ
 マシテハ必要デアル、斯ウ考ヘテ居リマ
 ス、其意味ヲ以チマシテ先程東サンカラ申
 上ダマシタヤウニ、大體此關稅其モノノ全
 體ノ平均カラ致シマス、此度ノモノハ有
 稅品無稅品合セマスト一割ニナッテ居リマ
 ス、全體ガ……有稅品ダケデハ平均一割ニ
 分ト云フコトニナッテ居リマスノデ、一面
 消費者ト云フ方ヲ考ヘマシテ、從テ一方ニ
 於キマシテ助長政策ト相俟ッテヤリタイト
 ニ云フ關係カラ提案ヲ致シタ次第デアリマス
 ○上郎清助君 私モ御尋ネシテ見タイノデ
 スガ、段々此山林ノ保護ト云フヤウナ意味、
 獎勵ト云フヤウナコトガ必要ダト云フコト
 ハ能ク私共ニハ分ッテ居リマスガ、唯、私ガ
 懸念スルノハ、關稅ト云フモノハ折々政府

ノ政策トシテ何ダカ其時ニ應ジテ上ダタ
 リ下ダタリスル政府ノ政策ノ一ツデ、或ル
 事ヲ調節スルコトニモナルカト私ハ考ヘ
 ル、ソコデ私能ク存ジマセヌガ、調ベモシ
 ナイデ御尋ネスルノハズルイヤウデスガ、
 一體今日課稅ニナリマス分ハ是マデ無稅デ
 アッタモノデスカ、ドウカヲ御尋ネシタイト
 思フ、前ニチヨット私ハ何カ頭ニウロ覺エ
 ニ覺エテ居テ聞イタコトガアルヤウニ思フ
 ノハ、大正五六年、七八年ニ掛ケテ非常ニ
 景氣ガ好クナッテ、其爲メ諸物價ガ非常ニ
 上ッテ來タコトニ依ッテ、殊ニ不足ヲ感ジタ
 ノハ何カト云フト船舶ニ使フ方ノ木材、
 前ニハ多ク日本ノ樺材ナドヲ用キタモノデ
 スガ、大正五六年以後ノ景氣デ殆ド内地ノ
 樺材ナドハ伐リ盡シテシマッテ無クナッタト
 云フ話デ、假リニアッテモ非常ニ値ガ高クテ
 連モ船舶ナドニ使ヘス、此場合ニ「デッキ」ナ
 ドニハ米モノノ松材ナドハ代用ガ出來ル、結
 構保存力モアルモノデアルト云フ意味カラ
 シテ、此時分ニハ課稅サレテ居タモノヲ無
 稅ニシテ米材ナドヲ引イタノデナイカト云
 フヤウナコトヲ、チヨット聞イタコトガ、私
 ハアルト思ッタノデスガ、ソレハアリ得ベ
 キモノデアルト思フノデスガ、果シテサウ
 デアリマシタカドウカ、御尋ネシテ置キタ
 イト思フ、サウスルト若シサウデアルトス
 ルト、今日ニナッテハ所謂「デッキ」ニデモ使

フヤウナ、必要ナ品ハ内地デ間ニ合フノデ
 アリマスガ、或ハ又其方ハ課稅ヲセズ
 ニ……能ク調ベスカラ分リマセヌガ、課稅
 ヲセズニ、若クハ其方ハ米國カラ引ク必要
 モ無イカラ課稅シテモ宜イト云フ譯デアリ
 マスカ、此邊ノ所ノ消息ガ私分ラナイノデ
 スガ、御分リデシタラ、一ツ……
 ○政府委員(入江魁君) 從來ニ於キマシ
 テ、大體ニ於キマスルト云フト、此板物ト
 小サナ角類デゴザイマス、ソレガ有稅ニ
 ナッテ居タノデアリマス、其他ハ全部無稅
 ト云フ形ニナッテ居タノデアリマス、サウ
 云フ意味カラ致シマシテ、今御話ノヤウナ
 モノハ大材……大キナ材木ニナッテ居リマ
 スノデ、日本ニ生産イタシマセヌノデ、サ
 ウ云フ風ナ所モ餘程考慮イタシマシテ、此
 度ハ非常ニ低イ稅金ヲ今度ハ掛ケマシテ、
 此「己ノ五」ト云フ「其ノ他」ト云フ内ニ這
 入ッテ居リマス、「己ノ五」ノ内ノ「ハ」ト云
 フ内ニ這入ッテ居リマス、「イロハ」ノ「ハ」
 デゴザイマス、非常ニ……十立方「メータ
 ー」ト致シマシテ二圓十錢ト云フ低イ稅率
 ヲ實ハ課シマシテ、大體日本ニ於テ生産イ
 タシマセヌカラ、成ルベク亞米利加ノモノ
 ヲコナラヘ貰フト云フ意味ニ於テ一番低イ
 稅率ヲ課シタノデアリマス、尙ホ是ハ無稅
 ニ致シマスと云フト、非常ニ弊害ヲ醸ス、
 大キナモノデ持ッテ來テ……御承知ノ通り

材木ノ如キハチヨット割リマシタリ、挽キマ
 スルト直グ簡單ニ製品トナリマスノデ、サ
 ウ云フ風ニ脫稅サレテシマッテ外ノ建築材
 ニサレルト云フ形ニナリマスノデ、無稅ニ
 致シマセヌガ、低イ稅率ヲ課シタト云フ形
 ニナッテ居リマス、長九太……長尺ノ三十三
 尺以上ト云フヤウナ長九太式ノモノデアリ
 マスガ、斯ウ云フ風ナモノハ全然日本ニ生
 産イタシマセヌノデ、斯ウ云フ風ナモノハ
 無稅ニ致シテ居リマス
 ○稻畑勝太郎君 木材ニ關スル御質問ハ大
 分出タヤウデゴザイマスガ、私ハ此「ベタ
 ナフトル」ニ付テノ質問ヲシタイト思フノ
 デアリマス、併シ是ハ商工省ノ當事者ニ御
 質問ヲ申上ゲタイト思フノデスガ、今日ハ
 御出マシニナッテ居ラレルノデスカ……成
 ルベクナラ此次ニ一ツ御延ベテ願ッテ、全體
 ヲモウ少シ能ク研究ヲシテマス、明日デモ
 結構デゴザイマス、繼續的ニ願ヒマシテ
 モ……成ルベクハ此位デ今日ハ御切上ダヲ
 願ッテ明日午後ニデモ……委員長ノ御都合、
 皆サンノ御都合ノ良イ時ニ一ツ繼續的ニ願
 フト云フコトニ願ヒタイト思ヒマス
 ○委員長(子爵八條隆正君) ドウデセウ、
 先程ノ御意見モアリマシタシ、今日ハ少シ
 早イヤウデスガ、此程度ニ止メマシテ明日
 ハ午後一時カラ……ソレデハ明日ハ午後一
 時カラ開會イタシマス、本日ハ是デ散會イ

タシマス

午後三時四十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵八條 隆正君

委員

侯爵西郷 從德君

子爵裏松 友光君

高橋 琢也君

西野 元君

稻畑勝太郎君

渡邊千代三郎君

上郎 清助君

政府委員

朝鮮總督府財務局長 草間 秀雄君

大藏省主稅局長 藤井 眞信君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 東 武君

農林省山林局長 入江 魁君

昭和四年三月二十五日印刷

昭和四年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局